

## 7

## アドベンチャープログラム

## 1 活動のねらい

集団での遊びや冒険活動を通して、自分自身を大切に思う心や他人との信頼関係、課題に挑戦し解決する力等を身につけることをねらいとした体験学習プログラムです。

## 2 活動の概要

当施設職員（PA研修受講）の直接指導によるグループワークを行います。

## 3 人数・時間・場所

- (1) 人数 45名以内（★冒険の森で活動する場合は、1グループ15名程度が標準です）
- (2) 対象 小学校5年生以上
- (3) 期間 屋内：通年、 屋外：5月上旬～10月下旬
- (4) 時間 3時間程度
- (5) 場所 交流の家体育館、ホール、冒険の森

## 4 指導について

交流の家職員の指導が必要な場合は、活動計画案を提出していただき、事前に打合せ・相談を行い進めます。

## 5 準備する物

区分	内容
個人	・活動しやすい服装
交流の家	・アドベンチャープログラム用具



## 6 活動の流れ




活動の流れ	内容
講師依頼	・講師依頼の提出（利用申込書と同時） ・活動計画案の提出（利用申込書 提出後）
事前打合せ ・相談	・人数や参加者の状態の確認、目標の設定 ・プログラムの意味や方法などの確認
活動	・指導、体験、ふりかえり
終了	・終了後、物品返却



## 7 屋内での活動例（用具一覧）

No.	用具名	数	No.	用具名	数
1	フリースボール	44	16	スポットマーカー（ラバー製円盤）	39
2	スポンジボール（大）	7	17	登山用ロープ 1.5M	15
3	スポンジボール（小）	1	18	ロープ（直径7ミリ）1.5m	2
4	プラスチックボール	69	19	パイプラインゲームキット	3
5	アースボール（ビーチボール・大）	3	20	クッションボール	2
6	ビーチボール（中）	3	21	大コイン	1
7	釘のパズル（木製容器入り）	1	22	動物おもちゃセット	1
8	ラバーチキン	3	23	キーパンチキット（1～30）	1
9	ラバーピッグ	1	24	サイクルタイムセット	2
10	ソフトフリスビー	2	25	室内用モホークウォークセット（体育館）	1
11	布製フリスビー（ソフティ）	28	26	フルバリュースカード（ワード）	3
12	ばらせるフラフープ	73	27	フルバリュースカード（フォト）	3
13	発砲ポリエチレン製洋式刀	6	28	しるらないカード	2
14	目隠しバンド	12	29	ウブツカード	2
15	ラバーリング	22			

## 8 屋外（冒険の森）での活動例

活 動 名	実 施 例	
電柱でござる	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地面の上に置かれた、電柱（丸太）の上に全員が乗る。</li> <li>② さまざまな条件で、地面に触れないように並び変わる。</li> </ol>	
モホークウォーク	<ol style="list-style-type: none"> <li>① グループ全員がケーブルから落ちないで渡りきる。</li> <li>② 落ちた人はスタート地点に戻り最後尾につく。</li> <li>③ ケーブル上にいない参加者は手伝ってはならない。ただし、安全面からスポッター（支援者）として補助できる。</li> </ol>	
ジャイアントシーソー	<ol style="list-style-type: none"> <li>① シーソーの両端が地面につかないようにバランスを保ちながら、中央から乗っていく。</li> <li>② 最終的にはグループ全員が乗る。</li> </ol> <p>※ やり方に関しては多くのバリエーションがある。</p>	
浮き台わたり	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 身の回りの物を使って、中央にぶら下がっているロープを手に入れる。</li> <li>② ロープを使い地面につかないよう浮き台に渡る。</li> <li>③ 浮き台に渡った者は、元の場所に戻れない。ただし、スポッターとして補助できる。</li> <li>④ 浮き台から落下した時は、落下した者がスタート地点に戻ってやり直す。</li> </ol>	
トラストフォール	<ol style="list-style-type: none"> <li>① チャレンジャーは、地上約1mの台の上に後ろ向きで立つ。</li> <li>② チャレンジャーは、向かい合わせに並んだ仲間がつくる腕の中に後ろ向きに倒れる。</li> </ol>	
大脱走	<ol style="list-style-type: none"> <li>① グループの全員が協力し、壁の表側から上に登りきり、壁を越える。</li> <li>② 壁の定員は3人まで。（4人目をアシストする）</li> <li>③ 壁の側面や両側にある支柱（ポール）を使ってはいけない。</li> <li>④ 衣類を道具として使ってはいけない。</li> </ol>	

### 8 実施上の留意点

○事前に次のことをお知らせ下さい。（活動計画案）※用紙は交流の家から送付します。

- ① 学校・クラスの実態
- ② 配慮を必要とする生徒、気になる生徒など（特に障がいをもった方がいる場合等）
- ③ 活動のねらい、先生方の願い
- ④ 活動についての要望
- ⑤ 先生方のかかわり方